

# 제주 무속·무가 관제 논저목록

강정식\*

1996년까지 발표된 자료를 대상으로 하였다. 지면을 달리하여 거듭 발표된 경우에도 목록에 포함시켰다. 이는 이용자의 편의를 도모하기 위해서이다. 1992년까지의 목록은 제주도에서 간행한 『濟州道誌3』(1993)에 제공한 바 있다.<sup>1)</sup> 이번에 미진한 부분을 보완하고, 그 이후에 발표된 자료를 추가하여 제시한다. 많은 도움이 되기를 바란다.

## I. 무 속

### 1. 자료편

- 南濟州郡·濟州大博物館, 『南濟州郡의 文化遺蹟』, 1996  
白鹿語文學會, “濟州市回泉洞學術調查報告”, 『白鹿語文』 11, 1994  
白鹿語文學會, “涯月邑今德里學術調查報告”, 『白鹿語文』 12, 1995  
서울大學校 濟州學友會, 『濟州神堂의 內容 및 現況 調查報告書』, 1973  
張籌根, 『韓國의民間信仰(資料)』, 金花舍, 1973  
장주근·이보형·김수남, 『한국의 굿 13, 굿: 제주도영등굿』, 열화당, 1983  
赤松智城·秋葉隆, 『朝鮮巫俗の研究』 上·下, 學文閣, 1970

\* 제주대 강사

1) 梁淳玢, 『濟州道誌3』(濟州道, 1993), pp.381~399. 참조 이 자료는 韓國精神文化研究院 語文研究室, “口碑文學關係論著目錄”, 『구비문학』 1(1978)·2(1979)·3(1980)·4(1981)·8(1985)과 김태근, 『韓國巫俗研究』(集文堂, 1982. 재판)의 “참고문헌” 및 “한국무속관계 논저목록”을 주로 참고하였다.

- 赤松智城・秋葉隆, 『朝鮮巫俗の研究』(上), 朝鮮印刷株式會社, 1937  
赤松智城・秋葉隆, 『朝鮮巫俗の研究』(上・下), 大阪屋號書店, 1937  
赤松智城・秋葉隆, 『朝鮮巫俗の研究』(下), 朝鮮印刷株式會社, 1938  
濟州大 國語教育科, 『學術調查報告書』5輯(蘭山里學術調查), 1977.6  
濟州大 國語教育科, 『學術調查報告書』6輯(城邑里學術調查), 1978.2  
濟州大 國語教育研究會, “舊左邑金寧里學術調查報告”, 『白鹿語文』6, 1989  
濟州大 國語教育研究會, “南元邑下禮里學術調查報告”, 『白鹿語文』5, 1988  
濟州大 國語教育研究會, “城山邑溫平里學術調查報告”, 『白鹿語文』2, 1987  
濟州大 國語教育研究會, “翰林邑明月里・安德面大坪里 學術調查報告”, 『白鹿語文』創刊號, 1986  
濟州大 國語教育學會, “楸子面學術調查報告”, 『白鹿語文』8, 1991.2.20  
濟州大 國語教育學會, “翰京面高山里學術調查報告”, 『白鹿語文』7, 1990  
濟州大 國語教育學會, “楸子面學術調查報告”, 『白鹿語文』8, 1991  
濟州大 國語教育學會, “西歸浦市甫木洞學術調查報告”, 『白鹿語文』9, 1992  
濟州大 國語教育學會, “朝天邑善吃里學術調查報告”, 『白鹿語文』10, 1993  
濟州大 國語國文・國語教育科, 『學術調查報告書』7輯(安德面德修里・涯月邑納邑里學術調查), 1982.10  
濟州大 國語國文・國語教育科, 『學術調查報告書』8輯(涯月邑郭支里・光令里學術調查), 1984.2  
濟州大 國語國文學科, “加波島學術調查”, 『國文學報』6輯, 1974.12  
濟州大 國語國文學科, “牛島學術調查”, 『國文學報』5輯, 1973.12  
濟州大 國語國文學科, “中文里學術調查”, 『國文學報』7輯, 1975.12  
濟州大 國語國文學科, “倉川里學術調查”, 『國文學報』4輯, 1972.12  
濟州大 國語國文學研究會, “歸德里學術調查”, 『國文學報』9輯, 1989  
濟州大 國語國文學研究會, “東福里學術調查”, 『國文學報』10輯, 1990  
濟州大 國語國文學研究會, “杏源里學術調查”, 『國文學報』8輯, 1986  
濟州大博物館・濟州市, 『濟州市의 文化遺蹟』, 1992  
濟州大 耽羅文化研究所, 『濟州島部落誌』(I), 1989<sup>2)</sup>

2) 濟州大 耽羅文化研究所에서 간행한 『濟州島部落誌』I ~ IV는 제주대 국어국문학과와 국어교

제주 무속·무가 관계 논저목록

- 濟州大 耽羅文化研究所, 『濟州島部落誌』(II), 1990  
濟州大 耽羅文化研究所, 『濟州島部落誌』(III), 1990  
濟州大 耽羅文化研究所, 『濟州島部落誌』(IV), 1991  
濟州民俗文化研究會 '火魂', "現地資料調査報告"(城山面), 『濟州民俗文化』創刊號, 濟州民俗文化研究會 '火魂', 1980.12.23  
濟州市·濟州大 耽羅文化研究所, 『濟州市의 郷土民俗』, 1992  
濟州市·濟州大博物館, 『濟州市의 옛터』, 1996  
秦聖麒, 『濟州巫神宮』, 耽羅人, 1992  
秋葉隆, 『朝鮮民俗誌』, 東京: 六三書院, 1954  
韓國文化人類學會, 『全國民俗綜合調查報告書』(濟州道篇), 文化財管理局, 1974.  
12. 30  
玄容駿, "巫俗·家庭信仰", 『濟州道文化財 및 遺跡綜合調查報告書』, 濟州道, 1973. 12  
玄容駿, "濟州島 무당굿놀이 概觀", 『文化財』2, 1966.11.1  
玄容駿, 『濟州島巫俗資料事典』, 新丘文化社, 1980  
玄容駿, "濟州島部落祭堂", 『部落祭堂』, 文化財管理局, 1969  
玄容駿, 『兎山堂굿』, 文化財管理局, 1966  
玄容駿·金榮敦, 『濟州島무당굿놀이』, 文化財管理局, 1965  
玄容駿·金榮敦, 『韓國口碑文學大系』 9-3(南濟州郡篇), 韓國精神文化研究院, 1980  
玄容駿·金榮敦, 『韓國口碑文學大系』 9-1(北濟州郡篇), 韓國精神文化研究院, 1980  
玄容駿·金榮敦, 『韓國口碑文學大系』 9-2(濟州市篇), 韓國精神文化研究院, 1980  
현용준·이남덕·김수남, 『한국의 굿 12, 굿: 제주도신굿』, 열화당, 1985  
현용준·이부영·김수남, 『한국의 굿 7, 굿: 제주도무혼굿』, 열화당, 1985  
황루시·김수남, 『팔도 굿』, 대원사, 1989

---

육과의 현지조사보고서를 영인하여 묶어낸 책이다. 새로운 조사자료가 제시된 것은 아니므로 착오 없기 바란다.

## 2. 논저편

강지희, “제주도 심방(神房)의 특성에 관한 연구 : 人巫儀禮를 중심으로”, 석사논문, 1995

고광민, “星川洞의 信仰構造”, 『白鹿語文』 8輯, 濟州大學校 國語教育學會, 1991.2.20

高光敏, “杏源里的 民間信仰”, 『白鹿語文』 3·4合輯, 濟州大學校 國語教育研究會, 1987.5.29

高光敏, “杏源里的 民間信仰”, 『玄谷梁重海博士華瀾紀念論叢』, 玄谷梁重海博士 華甲紀念論叢 刊行委員會, 1987.5.29

고광민, “行政圈과 信仰圈”, 『濟州島 研究』 6輯, 濟州島研究會, 1989

고광민, “行政圈과 信仰圈”, 『濟州巫俗의 傳統과 變化』 韓國精神文化研究院·濟州島研究會 主회 學術세미나(1989.10.26~27)발표요지

高碩希, “巫儀의 構造와 性格에 대한 小考”, 『學術調查報告書』 6(城邑里學術調査), 濟州大 國語教育科, 1978

고대경, “濟州島 神堂의 형성과 변천사”, 『제주도』 86, 濟州道, 1989

金基德, “무의가 지닌 연극적 요인 분석”, 동국대 석사논문, 1973

김성례, “원혼의 통곡 : 역사적 담론으로서의 제주무속”, 『濟州島 研究』 6輯, 濟州島研究會, 1989

김성례, “원혼의 통곡 : 역사적 담론으로서의 제주무속”, 『濟州巫俗의 傳統과 變化』 韓國精神文化研究院·濟州島研究會 主회 學術세미나(1989.10.26~27)발표요지

김성희, “濟州道 堂국의 觀光資源化에 關한 研究”, 『濟研』 6, 濟州大 濟州道問題研究會, 1982

金良順, “제주도의 무속신앙과 가족생활에 대한 一考察”, 『論文集』 28(인문·사회과학편), 濟州大, 1989

金烈圭, “巫俗部落祭와 그 民間思考”, 『人文科學』 22輯, 延世大 人文科學研究所, 1969.12

김영덕, “제주도의 사신신앙에 관한 연구”, 연세대 석사논문, 1982

- 金恩子, “濟州島 성주풀이의 構成 및 長短의 研究”, 이화여대 석사논문, 1988
- 金恩子, “濟州島 성주풀이의 構成 및 長短의 研究”, 『耽羅文化』 9, 濟州大 耽羅文化研究所, 1989.3
- 김정희, “제주도 巫俗舞의 실체와 특이성에 관한 연구”, (?) 석사논문, 1994
- 金泰坤, “濟州島神堂의 懸納俗考”, 『제주도』 26, 제주도, 1966.8.18
- 金泰坤, “濟州島의 巫俗實態”, 『韓國哲學研究』 9, 海東哲學會, 1979
- 김평희, “영등굿의 모습과 이에 담긴 生活相”, 『濟研』 8, 濟州大 濟州道問題研究會, 1985
- 김창민, “제주도의 역사와 당제”, 『한국문화인류학』 22, 한국문화인류학회, 1991
- 南聲鎬, “巫俗儀禮에 나타난 役割演技 연구 : 특히 사령제의를 중심으로”, 중앙대 석사논문, 1991
- 문무병, “堂의 形態에 관한 考察”, 『心田金洪植教授華甲紀念論叢』, 心田金洪植教授華甲紀念論叢 刊行委員會, 1990.6
- 문무병, “寧坪마을 사람들의 삶과 信仰”, 『寧坪마을』, 제주대박물관, 1991
- 문무병, “제주도 굿운동의 실천과제”, 『민족과 굿』, 학민사, 1987
- 문무병, “제주도 굿의 연극성에 관한 연구”, 제주대 교육대학원 석사논문, 1984
- 문무병, “제주도 굿의 연회적 특징”, 『濟州島 研究』 6輯, 濟州島研究會, 1989
- 문무병, “濟州島 堂信仰 研究”, 제주대 박사논문, 1993
- 文武秉, “濟州島 도개비당 研究”, 『耽羅文化』 10, 濟州大 耽羅文化研究所, 1990
- 文武秉, “濟州島 蛇神信仰 研究”, 『濟州島言語民俗論叢』, 濟州文化, 1992
- 문무병, “향토무속연재/제주도의 놀이굿⑤ : 사농놀이”, 『월간관광 濟州』 20, 1986.7
- 朴瑞玉, “巫俗이 韓國教育에 미친 影響”, 한양대 석사논문, 1984 (?)
- 박일영, “한국 무속의 인격 이해 : 제주굿을 통해 본 인격의 개념과 구조(김성례)”, 약정토론, 『사목』 192, 1995
- 부인식, “巫俗信仰과 住民意識 : 토산, 송당, 김녕”, 『濟研』 6, 濟州大 濟州道問題研究會, 1982
- 石宙明, “兎山堂由來記”, 『郷土』 9월, 正音社, 1946.9
- 申守君, “1901년 제주도민 투쟁에 대하여 : 민간신앙과 천주교의 갈등 및 대립을 중심으로”, 한국외국어대 석사논문, 1993 (?)

- 梁重海, “耽羅의 學藝·言語·宗教에 關한 研究”, 『論文集』 3, 濟州大學, 1971
- 원필녀, “제주도 굿에 나타난 춤에 대한 연구”, 이화여대 석사논문, 1992
- 이경희, “巫俗信仰과 住民生活 : 보목, 상호”, 『濟研』 6, 濟州大 濟州道問題研究會, 1982
- 李起旭, “濟州島 蛇神崇拜의 生態學”, 『濟州島 研究』 6輯, 濟州島研究會, 1989
- 李能和, 『朝鮮巫俗考』, 백록출판사, 1972
- 李杜鉉, “洞祭와 堂굿”, 『師大論叢』 17, 서울大學校, 1978
- 李杜鉉, “濟州島民俗調査 : 古城里와 水山里의 歲時風俗과 部落祭를 중심으로”, 『韓國文化』1, 서울대 한국문화연구소, 1980.12
- 李文雄, “在日 濟州人 사회에서의 巫俗”, 『濟州島 研究』 6輯, 濟州島研究會, 1989
- 李文雄, “在日 濟州人 사회에서의 巫俗”, 『濟州巫俗의 傳統과 變化』 韓國精神文化研究院 濟州島研究會 주최 學術세미나(1989.10.26~27)발표요지
- 이문웅, “제주도의 당제에 나타난 혈연성과 지연성”, 『한국의 사회와 역사』, 최재석교수 정년퇴임기념논총 간행위원회, 1991
- 이보형, “제주도 굿의 춤과 음악”, 장주근·이보형·김수남, 『한국의 굿 13, 굿 : 제주도영등굿』, 열화당, 1983
- 李符永, “濟州巫俗의 몇가지 特徵과 分析心理學的 試考”, 『濟州島 研究』 6輯, 濟州島研究會, 1989
- 李符永, “濟州巫俗의 몇가지 特徵과 分析心理學的 試考”, 『濟州巫俗의 傳統과 變化』, 韓國精神文化研究院·濟州島研究會 주최 學術세미나(1989.10.26~27)발표요지
- 이부영, “죽은자와 산자의 대화 : 샤머니즘과 심리학”, 현용준·이부영·김수남, 『한국의 굿 7, 굿 : 제주도 무혼굿』, 열화당, 1985
- 李三悅, “傳說과 民俗信仰 : 濟州道の 경우를 중심으로”, 『基督教思想』 12.9, 1968.7
- 李秀子, “제주도 무속과 신화 연구”, 이화여대 박사학위 논문, 1989
- 李秀子, “제주도 큰굿의 구조적 원형 및 문화사적 위상”, 『濟州島 研究』 7輯, 濟州島研究會, 1990
- 李鐘雨, “巫俗音樂에 나타난 韓國美의 本質”, 계명대 교육대학원 석사논문, 1991

- 張愛深, “濟州道 巫俗祭 祭物의 民俗學的 研究”, 梨花女大 教育大學院 碩士論文, 1976
- 장주근, “강인한 삶의 현장, 풍요에의 기원(영등굿)”, 장주근·이보형·김수남, 『한국의 굿 13, 굿 : 제주도영등굿』, 열화당, 1983
- 張籌根, “部落 및 家庭信仰”, 『韓國民俗綜合調查報告書(濟州島篇)』, 文化財管理局, 1974.12
- 張籌根, “濟州島 巫俗과 神話”, 『濟州島 研究』6輯, 濟州島研究會, 1989
- 張籌根, “濟州島 巫俗의 도깨비 信仰에 對하여 : 脫解, 處容과의 對比”, 『箕軒 孫洛範 先生 回甲紀念 論文集』, 同 刊行委員會, 1972
- 張籌根, “濟州島巫俗의 도깨비信仰에 대하여”, 『국어교육』 19·20합병호, 한국국어교육연구회, 1972.12
- 張籌根, “濟州島 巫俗의 도깨비 信仰”, 『韓國民俗論攷』, 啓蒙社, 1986
- 張籌根, “濟州島 豐漁祭”, 『韓國民俗論攷』, 啓蒙社, 1986
- 張籌根, “濟州島巫俗의 地域性에 대하여”, 『제주도』 15, 濟州道, 1964
- 張籌根, “濟州島女神考”, 『濟州文化』創刊號, 文總濟州道支部, 1957.6.15
- 張籌根, “韓國의 神堂形態考”, 『民族文化研究』 1, 高麗大 民族文化研究所, 1964
- 張籌根, 『濟州島 巫俗』, 文化財管理局 文化財研究所, 1990
- 張籌根, 『韓國의民間信仰』(論考篇), 金花舍, 1976
- 張籌根, “鄉土神 ; 濟州島의 本鄉堂”, 『서울평론』 5, 1973
- 鄭昞浩, “濟州島의 <성주풀이>”, 『공간』 162, 1980 (?)
- 鄭英喆, “濟州道 傳統民家의 空間的 特徵 및 意味에 關한 연구 : 民間信仰을 中心으로”, 한양대 박사논문, 1991
- 조만호, “제주도 ‘무당굿놀이’의 민속학적 접근 : ‘본풀이’와 ‘맞이’·‘놀이’의 관계를 중심으로”, 성균관대 대학원 석사학위논문, 1985
- 조영배, “무속연구의 음악적 내용”, 『복제주』 74, 복제주군, 1991
- 조영배, “제주도 무속음악의 구조”, 『濟州島言語民俗論叢』, 濟州文化, 1992.10
- 左東烈, “濟州島 조왕信仰考”, 『學術調查報告書』 5(蘭山里學術調查), 濟州大 國語教育科, 1977
- 진성기, 『남국의 무속』, 형설출판사, 1987
- 진성기, “내 고향의 巫俗信仰”, 『복제주』 59, 복제주군, 1967

- 秦聖麒, “巫覡과 神格의 黑白兩派”, 『民俗學論叢Ⅱ』, 石宙善博士古稀紀念論叢  
發刊委員會, 1982
- 秦聖麒, “本郷堂信仰과 堂神의 類型 : 濟州島의 民俗을 中心으로”, 『文化人類  
學』 5, 韓國文化人類學會, 1972. 12
- 秦聖麒, “濟州島 巫俗의 來生觀”, 『韓國民俗學』 8, 民俗學會, 1975.12
- 秦聖麒, “濟州島 神堂과 堂神”, 『韓國民俗學』 2, 民俗學會, 1970.7
- 秦聖麒, “濟州島 立春굿놀이”, 『서낭당』 2, 1972, 3
- 秦聖麒, “濟州島高山里의 民俗信仰”, 『文化人類學』 4, 韓國文化人類學會, 1971.2
- 秦聖麒, “濟州島巫俗考(심방篇)”, 『제주도』 10, 濟州道, 1963
- 秦聖麒, “濟州島巫俗考”, 『제주도』 13, 濟州道, 1964.4
- 秦聖麒, “濟州島巫俗과 堂信仰”, 『韓國文化人類學』 17, 韓國文化人類學會, 1985
- 秦聖麒, “濟州島巫俗信仰의 意義”, 『石宙善先生回甲紀念民俗學論叢』, 石宙善先  
生回甲紀念論叢 刊行委員會, 1971.12.25
- 秦聖麒, “濟州島巫俗의 意義”, 『제주도』 34, 濟州道, 1968.7
- 秦聖麒, “濟州島民과 巫俗信仰”, 『제주도』 16, 濟州道, 1964
- 秦聖麒, “濟州島民의 生活과 巫俗”, 『제주도』 37, 濟州道, 1968.12
- 秦聖麒, “濟州島의 甁信仰”, 『韓國文化人類學』 10, 韓國文化人類學會, 1980
- 秦聖麒, “제주도의 영등굿”, 『제주도』 53, 濟州道, 1972
- 秦聖麒, “濟州島의 醮祭堂과 部落祭”, 『제주도』 39, 濟州道, 1969.7.31
- 秦聖麒, “耽羅先住民의 文化的內面 : 特に民間信仰面を中心として”, 『親和』 177,  
日韓親和會, 1968
- 秦元日・玄平孝・梁重海, “耽羅의 學藝・言語・宗教의 연구”, 『논문집』 3, 濟州  
大, 1971
- 崔吉城, “東亞細亞에 있어서 샤머니즘의 比較”, 『濟州巫俗의 傳統과 變化』, 韓國  
精神文化研究院・濟州島研究會 주최 學術세미나(1989.10.26~27) 발표요지.
- 崔吉城, “濟州島 加派島의 民間信仰”, 『한국학논집』 9, 계명대 한국학연구소,  
1982
- 崔吉城, “濟州島 심방에 대하여”, 『濟州島 研究』 6輯, 濟州島研究會, 1989
- 秋葉隆, “濟州島に於ける蛇鬼の信仰 : 遮歸文化圏の試み”, 『靑丘學叢』 7, 1932
- 秋葉隆, 『朝鮮巫俗의 現地研究』, 崔吉城 譯, 啓明大出版部, 1987.6



- 秋葉隆, 『朝鮮巫俗の現地研究』, 養徳社(日本), 1950
- 卓明煥, “濟州蛇神 信仰에 대한 小考”, 『韓國文化人類學』 10, 韓國文化人類學會, 1978
- 太田滄, “濟州島開祖考”, 『歷史地理』 38.6, 1921
- 韓國文化藝術振興院, “濟州巫樂”, 『巫樂』, 韓國文化藝術振興院, 1980
- 한만영, “제주도의 무악연구 : 산당굿을 중심으로”, 『한국음악연구』 8·9, 한국국악학회, 1989
- 玄容駿, “古代韓國民族의海洋他界觀”, 『柳田國男研究』 7, 1874.10
- 玄容駿, “넋들임考”, 『北泉沈汝澤先生回甲紀念論叢』, 北泉沈汝澤先生回甲紀念論叢 刊行委員會, 1982.12
- 玄容駿, “巫俗·家庭信仰”, 『濟州道 文化財 및 遺跡綜合調查報告書』, 濟州道, 1973.12
- 玄容駿, “巫俗”, 『濟州道誌』, 1982.2
- 玄容駿, “社會·信仰儀禮·演戲·農業”, 『濟州道 文化財 및 遺跡調查報告書』, 제주도, 1973.12.
- 玄容駿, “成巫過程 : 濟州島巫俗의 比較研究”(II), 『國文學報』 5, 濟州大學 國語國文學會, 1973.12
- 玄容駿, “神房과 사만”, 『韓國民俗學』 6, 民俗學會, 1973.10
- 玄容駿, “躍馬戲考 : 영등굿에서의 競漕民俗”, 『延岩玄平孝博士回甲紀念論叢』, 延岩玄平孝博士回甲紀念論叢 刊行委員會, 1980.9.24
- 玄容駿, “漁民信仰”, 『濟州市水協史』, 濟州市水產業協同組合, 1989
- 玄容駿(공저), 『靈を招く : 韓國のシセ-マン』, 東京 : 國書刊行會, 1977
- 玄容駿, “儀式 및 놀이編”(칠머리당굿, 영감놀이, 松堂里마을祭, 納邑里마을祭), 『濟州道 無形文化財 調查報告書』, 濟州道, 1986
- 玄容駿, “潛嫂의 信仰”, 『제주도』 86輯, 濟州道, 1989
- 玄容駿, “濟州島 巫覡의 職能者로서의 性格”, 『金載元博士回甲紀念論叢』, 金載元博士回甲紀念論叢編輯委員會, 1969.3
- 玄容駿, “濟州島巫俗의 神 : 部落祭守護神의 形成を中心として”, 『東洋文化』 53, 東京 : 東京大 東洋文化研究所, 1973.3
- 玄容駿, “濟州島 巫俗考 : 심방篇”, 『제주도』 10, 濟州道, 1963.9

- 玄容駿, 『濟州島 巫俗 研究』, 集文堂, 1986
- 玄容駿, “濟州島 巫俗儀禮研究”, 『論文集』 7, 濟州大學, 1975.12.31
- 玄容駿, “濟州島 巫俗의 比較研究”(I), 『論文集』 5, 濟州大學, 1973.12
- 玄容駿, “濟州島 巫俗의 比較研究”(III), 『論文集』 6, 濟州大學, 1974.12.30
- 玄容駿, “濟州島 巫俗의 比較研究”(II), 『國文學報』 5, 濟州大 國文學科, 1973
- 玄容駿, 『濟州島 巫俗의 研究』(業績報告書), 東亞文化研究委員會, 1972.12
- 玄容駿, 『濟州島巫俗の研究』, 第一書房, 1985.7
- 玄容駿, “濟州島 巫俗의 祭物과 神”, 『白鹿語文』 創刊號, 濟州大學校 國語教育  
研究會, 1986.1.7
- 玄容駿, “濟州島 巫俗의 疾病觀”, 『제주도』 21, 제주도, 1966.9.18
- 玄容駿, “濟州島 巫神의 性格과 神統”, 『제주도』 17, 濟州道, 1964.10
- 玄容駿, “濟州島 巫神의 住處”, 『濟州島民俗』 3, 濟州島民俗學會, 1965.3
- 玄容駿, “濟州島 巫神의 形成”, 『耽羅文化』 創刊號, 濟州大 耽羅文化研究所,  
1982
- 玄容駿, “濟州島 巫儀의 ‘기메’考 : 巫俗의 身體形成의 一面”, 『文化人類學』 2,  
韓國文化人類學會, 1969.11
- 玄容駿, “濟州島 部落祭의 形態”, 『東北亞細亞民俗學 심포지움 論文概要』, 關東  
大學 東北亞民俗學研究所, 1977.6
- 玄容駿, “濟州島 샤머니즘의 部落守護神 形成”, 『샤머니즘의 현대적 意味』,  
1973.3.1
- 玄容駿, “濟州島 海村生活의 調查研究”(II), 『國文學報』 3, 濟州大 國語國文學科,  
1970.7.30
- 玄容駿, “濟州島 海村生活의 調查研究”(I), 『論文集』 2, 濟州大, 1970.10.31
- 玄容駿, “濟州島 海村의 巫俗信仰 實態”, 『제주도』 35, 濟州道, 1968.7
- 玄容駿, “濟州島의 神々と 祭り”, 『自然と文化』 34, 東京 : 觀光資源保護財團,  
1991.9
- 玄容駿, “濟州島의 巫俗 : その儀禮形式に見える信仰複合”, 『民族學研究』 30-4, 日  
本民族學會, 1972.3
- 玄容駿, “濟州島民의 信仰體系와 巫俗”, 『濟州島 研究』 6輯, 濟州島研究會, 1989
- 玄容駿, “濟州島民의 信仰體系와 巫俗”, 『濟州巫俗의 傳統과 變化』, 韓國精神文

제주 무속·무가 관계 논저목록

- 化研究院·濟州島研究會 주최 學術세미나(1989.10.26~27) 발표요지.
- 玄容駿, “濟州島の 巫覡”, 『濟大學報』 7, 濟州大學, 1965
- 玄容駿, “濟州島の 巫俗儀禮”, 『韓國言語文學』 3, 韓國言語文學會, 1976
- 현용준, “제주도의 바다 : 삶의 터전, 죽음의 자리 그리고 굿 한마당”, 현용준·이부영·김수남, 『한국의 굿 7, 굿 : 제주도 무혼굿』, 열화당, 1985
- 玄容駿, “濟州島の 영등굿”, 『韓國民俗學』 1, 民俗學會, 1969.12
- 玄容駿, “濟州島の 儒式部落祭”, 『石宙善先生回甲論叢』, 同刊行委員會, 1971.12
- 玄容駿, “濟州研究의 現況과 展望 : 民俗學側面”, 『耽羅文化』 3, 濟州大 耽羅文化研究所, 1984.2
- 玄容駿, “濟州의 巫占法”, 『제주도』 12, 濟州道, 1963.12
- 玄容駿, “韓國神話와 祭儀”, 『月山任東權博士頌壽紀念論文集』, 月山任東權博士頌壽紀念論文集 刊行委員會, 1986.4
- 玄容駿, “한라산에 얽힌 전설과 신앙”, 『제주도』 44, 제주도, 1969.5
- 玄春植, “濟州島の 民間信仰 : 그 失態를 중심으로”, 『향토사연구』 3, 한국향토사연구전국협의회, 1991
- 현충훈, “巫俗信仰에 對한 新·舊世代의 意識比較”, 『濟研』 7, 濟州大 濟州道問題研究會, 1985
- 黃縷詩, “무당굿놀이 개관”, 『梨花語文論集』 3, 梨花語文學會, 1980
- 神田どり子, “濟州道の巫俗儀禮と儒教式儀禮”, 『東アジアのシャーマニズムと民俗』, 勁草書房, 1994
- Chin Song-gi, Tangsin : Cheju Shamanism, *Korea Journal* Vol.17. No.8, Korea Nation Commission, 1977
- Eno Beuchelt, Die Rückrufung der Aham auf Chejudo(Südkorea), *Anthropos*, M.A., Harvard Univ. Press.
- Eno Beuchelt, “제주도의 초혼굿 : 영혼의 안정을 위한 祭典”, 『논문집』 30(?), 이화여대, 1976.5
- Hyun Yong-joon, Family and Religion in South Korea, Chiefly based on Cheju Island, *The Symposium on Family and Religion in East Asia Countries*, Vol X I, Nos

1-4, 1972

- Kim Seong-nae, A Healing Rite of a Cheju Simbang in Korea : A Preliminary Analysis, 『제주도연구』 1, 1984
- Kim Seong-nae, Chronicle of Violence, Ritual of Mourning : Cheju Shamanism in Korea, Univ. of Michigan, 1989
- Kim Yang-soon, A Study on the Shamanism and family life in Cheju-Island, 『논문집』 28, 제주대, 1989.6
- Patricia Hunt, The Snake Faith of Cheju People, 『耽羅文化』 10, 제주대 탐라문화연구원, 1990
- Yoon Soon-young, Magic, Science and Religion on Cheju Island, *Korea Journal*, March 1976

### 3. 잡지 · 신문 기사

月刊 觀光濟州社, 『月刊 觀光濟州』

(1) <搖鈴소리의 脈을 찾아서> 시리즈

- ① 溫坪 本郷堂, 47호(1988. 10), pp.170~177.
- ② 東回泉 새밧堂, 48호(1988. 11), pp.154~158.
- ③ 김녕 본향당(큰당), 49호(1988. 12), pp.117~123.
- ④ 板浦 할망당, 50호(1989. 1), pp.172~176.
- ⑤ 南元 本郷堂, 51호(1989. 2), pp.118~122.
- ⑥ 海安洞 東·西堂, 52호(1989. 3), pp.177~181.
- ⑦ 新巖 本郷堂, 53호(1989. 4), pp.181~???
- ⑧ 下道里 각시당, 54호(1989. 5), pp.80~85.
- ⑨ 억마루 스님당(道順里), 55호(1989. 6), pp.110~113.
- ⑩ 表善 本郷·당케당, 56호(1989. 7), pp.114~119.
- ⑪ 光令里 本郷堂, 58호(1989. 9), pp.74~79.

(2) <脈을 잇는 사람들> 시리즈 中

제주 무속·무가 관계 논저목록

- ① 巫俗은 濟州人의 信仰(安士仁), 33호(1987. 8), pp.46~51.
- ② 어린 녀을 붙들어 濟州의 血脈을 지킨 “삼승할망”, 44호(1988. 7), pp.107~116.
- ③ 李仲春, 神과 人間의 사이에 내 平生을, 52호(1989. 3), pp.79~84.
- ④ ‘넋할망’ 양병원, 65호(1990. 4), pp.67~71.
- ⑤ 칠머리당굿 보존회장 金允洙씨, 77호(1991. 4), pp.91~100.

(3) 특집 <탐라의 굿 : 1만 8천 신(神)들과의 대화>, 8호(1985. 5)

문무병, “제주의 굿을 연극적으로”, pp.82~89.

“문순실 심방의 라이프 스토리”, pp.90~99.

고광민, “토산마을 뱀신앙 이야기”, pp.100~105.

“요즘의 굿판, 신명을 잃어간다“, pp.114~119.

(4) <향토무속연재> 시리즈

문무병, “제주도의 놀이굿1 : 용놀이(갈룡머리)”, 16호(1986. 2), pp.106~111.

문무병, “제주도의 놀이굿2 : 행원 남당중놀이”, 17호(1986. 3), pp.180~185.

문무병, “제주도의 놀이굿3 : 서천 꽃놀이”, 18호(1986. 4·5), pp.164 ~167.

문무병, “제주도의 놀이굿4 : 영감놀이”, 19호(1986. 6), pp.132~136.

문무병, “제주도의 놀이굿5 : 사농놀이”, 20호(1986. 7), pp.116~121.

(5) 연재 <새제주의 발견>

고광민, “열 한 위의 마을공동신을 모시는 마을, 행원리(1)”, 11호(1985. 8), pp.90~100.

고광민, “열 한 위의 마을공동신을 모시는 마을, 행원리(2)”, 12호(1985. 9), pp.??~??.

고광민, “명월리와 동명리, 그 복잡한 信仰畵域(1)”, 15호(1985. 12), pp.74~79.

고광민, “명월리와 동명리, 그 복잡한 信仰畵域(2)”, 16호(1986. 1), pp.112~115.

(6) 기타

현춘식, “가신들과 신구간 풍속”, 5호(1985. 2), pp.90~93.

현춘식, “마을의 화평 비는 부락제”, 6호(1985. 3), pp.66~70.

- 현춘식, “칠머리 당굿”, 7호(1985. 4), pp.107~111.  
장애심, “향토음식연재2, 제주도의 무속제물”, 20호(1986. 7), pp.46~47.  
장애심, “향토음식연재3, 본풀이에 나오는 음식”, 21호(1986.8), pp.90~91.  
장애심, “향토음식연재5, 제주무속의 금기제물”, 24호(1986. 11), pp.134~137.  
고광민, “개로천 맨 끝에 자리잡은 마을, 신천리에서 만난 산 耆와 죽은 耆”, 26호(1987. 1), pp.76~79.  
정이근, “靈驗과 공포의 象徵인 道順里的 검복낭”, 34호(1987. 9), pp.166~168.  
“神이 坐定을 있게한 돌제폭낭”, 69호(1990. 8), pp.91~93.  
“東回泉마을 守護의 상징 할망당폭낭”, 72호(1990. 11), pp.80~82.  
“水山里 堂洞의 守護木 수산곰솔”, 74호(1991. 1), pp.92~94.

## II. 무 가

### 1. 자료편

『제주무가집』(필사본)

文彰憲, 『風俗巫音』(필사본), 1928<sup>3)</sup>

張籌根, “濟州島巫歌(1)”, 『국어국문학』 19, 국어국문학회, 1958

張籌根, “濟州島巫歌(2)”, 『국어국문학』 22, 국어국문학회, 1960

張籌根, 『韓國의 民間信仰(資料)』, 金花舍, 1973

赤松智城・秋葉隆, 『朝鮮巫俗의 研究』(上・下), 學文閣, 1970

赤松智城・秋葉隆, 『朝鮮巫俗의 研究』(上・下), 大阪屋號書店, 1937

秦聖麒, 『南國의 巫歌』, 濟州民俗文化研究所, 1968

秦聖麒, 『南國의 神話』, 아림출판사, 1964(초판), 1965(재판)

秦聖麒, 『南國의 神話 : 세경본풀이』, 正音社, 1980

秦聖麒, 『제주도 무가 본풀이 사전』, 民俗苑, 1991

3) 이 자료는 제주대 탐라문화연구소에서 영인 간행한 바 있다. 제주대 탐라문화연구소 『風俗巫音』(上・下), 1997. 이 책의 해제에 자료의 출처에 대한 보고가 실려 있다.

제주 무속·무가 관계 논저목록

- 玄容駿, 『濟州島巫俗資料事典』, 新丘文化社, 1980  
玄容駿, 『濟州島神話』, 瑞文堂, 1976  
玄容駿, 『韓國口碑文學大系』 9-2(濟州市篇), 韓國精神文化研究院, 1981

2. 논저편

- 姜晶植, “濟州巫歌 이공본의 口碑敍事詩의 性格”, 『文學研究』 7輯, 우리어문학연구회, 1988.2  
姜晶植, “濟州巫歌 이공본의 口碑敍事詩의 性格”, 韓國精神文化研究院 附屬大學院 碩士學位論文, 1987.12  
강정식·좌혜경, “耽羅文獻解題(1) : 口碑文學·民俗學①”, 『耽羅文化』 14, 제주대 탐라문화연구소, 1994<sup>4)</sup>  
강진옥, “무속신화와 일상의례를 통해서 본 여성의 종교성”, 『여성신학논집』 1, 이화여대 여성신학연구소, 1995.2  
高光敏, “당본풀이에 나타난 葛藤과 對立”, 『耽羅文化』 2, 濟州大 耽羅文化研究所, 1983.2  
高光敏, “濟州島處女堂본풀이研究”, 濟州大 教育大學院 碩士學位論文, 1982  
權泰孝, “建國神話와 堂神神話의 相關性 研究”, 경기대 석사논문, 1990.2  
김대숙, “여인발복 설화의 연구”, 이화여대 박사논문, 1988  
金東燮, “兎山堂 本풀이 研究”, 濟州大 碩士論文, 1989.12  
金承璨, “敍事巫歌의 世界 : 濟州島 三公本풀이를 例로 하여”, 『효원』 16, 부산대, 1973.9  
金永一, “堂神說話의 서사구조 연구 : ‘松堂里堂神本풀이’를 中心으로”, 『加羅文化』 6輯, 慶南大 加羅文化研究所, 1988.12  
金永一, “巫歌의 呪詞形態와 傳承構造”, 『論文集』 5, 慶南大, 1978  
金永一, “巫俗神話의 形成考 : 呪術原理를 통해서 본”, 『論文集』 3, 慶南大,

4) 제주도의 무속·무가, 민요 관계 논저에 대한 해제이다. 지속적으로 해제를 해나가기로 했으나, 이것으로 중단되고 말았다.

1976.11

- 金永一, “韓國 巫俗敘事詩의 敘事構造 研究 : ‘본풀이’ 敘事模型과 民譚構造의 對比를 中心으로”, 서강대 박사논문, 1986
- 김재용, “제주도 신화의 서사구조에 대한 관계”, 『국어국문학연구』 10, 원광대학교 국어국문학과, 1984
- 김중대, “濟州道 도깨비본풀이의 形成樣相에 대한 考察”, 『학술연구발표논집』 5, 문화재연구소, 1992.2
- 김창진, “觀念的 時空의 存在樣相 및 性格 考察(I) : 초감제무가·단군신화·박혁거세신화를 중심으로”, 『국제어문』(?), 국제어문학연구회, 1986.6
- 김창진, “觀念的 時空의 存在樣相 및 性格 考察(I) : 初監祭巫歌·단군신화·박혁거세신화를 중심으로”, 『美原 禹寅變선생회갑기념논문집』, 집문당, 1984
- 金泰坤, “巫歌 資料蒐集의 現況檢討”, 『口碑文學』 1, 韓國精神文化研究院 語文研究室, 1979.1
- 김현선, “제주도 지역 필사본 무가의 자료적 가치”, 『古典文學研究』7, 韓國古典文學研究會, 1992
- 김현선, 『한국의 창세신화』, 길벗, 1994
- 金和經, “西歸浦 本郷堂 本풀이의 構造分析”, 『口碑文學』 5, 韓國精神文化研究院 語文研究室, 1981.4
- 김화경, “세경 본풀이의 사회학적 고찰”, 『韓國學報』 28, 一志社, 1982
- 南濟州郡, 『南濟州誌』, 南濟州郡, 1986
- 文武秉, “마을의 설촌과 당본풀이 : 성산읍 운평리의 경우”, 『白鹿語文』 7輯, 濟州大學校 國語教育學會, 1990.2.20
- 文武秉, “마을의 설촌과 당본풀이② : 평대리 수대깃당 본풀이를 중심으로”, 『한얼』 4, 한국방송통신대학 제주지역 국어과, 1989
- 文武秉, “濟州島긔의 演劇性에 관한 研究”, 濟州大 教育大學院 碩士學位論文, 1984
- 文武秉, “濟州島 도깨비堂 神話에 관한 一考 : 文化史的인 側面에서”, 『研究論叢』2, 한국방송통신대학 제주지역 학습관(?), 1982
- 朴敬伸, “제주도 巫俗神話의 몇 가지 특징 : <세경본풀이>를 중심으로”, 『국어국문학』 96, 국어국문학회, 1986



- 박상규, “濟州巫歌와 民謠에 나타난 語彙의 性格考”, 『濟州島言語民俗論叢』, 濟州文化, 1992.10
- 박중성, “巫俗敍事詩 연구의 새로운 관점”, 『口碑文學研究』1, 韓國口碑文學會, 1994
- 邊聖久, “제주도 서우갯소리 연구”, 제주대 교육대학원 석사논문, 1986
- 邊聖久, “제주도 서우갯소리 연구”, 『民謠論集』創刊號, 民謠學會, 1988
- 徐大錫, “巫歌研究의 現況과 問題點”, 『口碑文學』1, 韓國精神文化研究院 語文研究室, 1979.1
- 徐大錫, “敍事巫歌 研究 : 설화, 소설과의 관계를 중심으로”, 『국문학연구』8, 서울대 국문학연구회, 1968
- 徐大錫, “敍事巫歌 ‘帝釋本풀이’ 研究”, 서울大學校 大學院 博士學位論文, 1979
- 徐大錫, “帝釋本풀이 研究”, 『韓國巫歌의 研究』, 文學思想社, 1980
- 徐大錫, “創世始祖神話의 意味와 變異”, 『口碑文學』4, 韓國精神文化研究院 語文研究室, 1980.10
- 徐大錫, “한국 신화와 만주족 신화의 비교 연구”, 『古典文學研究』7, 韓國古典文學研究會, 1992
- 石宙明, “兎山堂由來記”, 『鄉土』9월, 正音社, 1946.9
- 薛盛璟, “民譚과 濟州巫歌의 共時的研究”, 『韓國民俗學』8, 韓國民俗學會, 1975.12
- 薛盛璟, “초공본풀이의 서사구조 연구”, 『濟州島言語民俗論叢』, 濟州文化, 1992.10
- 申月均, “‘초공본풀이’의 構造 考察”, 『국어국문학』100號, 국어국문학회, 1988.12
- 양영수, “한국 신화와 그리스 신화의 비교연구 : 제주도 신화를 중심으로”, 『濟州島 研究』8, 濟州島研究會, 1991
- 俞達善, “濟州道 堂神本풀이 研究”, 대구대 박사논문, 1994
- 윤교임, “여성영웅신화 연구 : 초공본풀이·삼공본풀이·세경본풀이에 대한 문화기호학적 해석”, 서강대 석사논문, 1995
- 尹贊柱, “이공본풀이의 敍事構造 연구”, 인하대 교육대학원 석사논문, 1991.2
- 李能和, “朝鮮巫俗考”, 『啓明』19, 啓明俱樂部, 1927

- 李鳳俊, “濟州島神話의 問題點”, 『제주도』 20, 濟州道, 1965.7
- 李秀子, “농경기원신화에 나타난 여성인식과 의의”, 『梨花語文論集』 11輯, 梨花女大 韓國語文學研究所, 1990
- 李秀子, “무신도(삼불제석)의 신적 성격과 형성배경 : 무조신화 초공본풀이와의 상관성을 중심으로”, ?, ?, ?
- 李秀子, “백중의 기원과 성격 : 농경기원 신화 세경본풀이와의 상관성을 중심으로”, ?, ?, ?
- 李秀子, “삼신신앙의 기원과 성격”, 『濟州島言語民俗論叢』, 濟州文化, 1992.10
- 李秀子, “설화에 나타난 <머들임 화소>의 서사적 기능과 의미”, 『口碑文學研究』 2, 韓國口碑文學會, 1995
- 李秀子, “제주도 무속과 신화 연구”, 이화여대 박사논문, 1989
- 李志映, “創世始祖神話의 傳承變異에 관한 研究”, 『冠岳語文研究』 18, 서울대 국어국문학과, 1993.12
- 李志映, “韓國神話의 神格 由來에 관한 研究”, 서울대 박사논문, 1994.
- 임석재, “우리나라의 천지개벽신화”, 『경학 김영돈박사 회갑기념 교육학논총』, 동간행위원회, 1980
- 任容震, “<삼공본풀이>의 構造分析和 形成過程考”, 『白鹿語文』 2輯, 제주대 국어교육연구회, 1987
- 張籌根, “口碑文學史(上)”, 『韓國文化史大系V(言語文學史)』, 高麗大 民族文化研究所, 1967.5
- 張籌根, “口碑神話의 文獻神話化 過程 : 濟州島 堂神本풀이의 三姓始祖神話化를 中心으로”, 『先淸語文』 18・19合輯, 서울대 국어교육과, 1990
- 張籌根, “구전신화의 문헌신화화 과정 : 제주도 당신본풀이의 3성시조신화화를 중심으로”, 『한국신화의 민속학적 연구』, 집문당, 1995
- 張籌根, “三姓 始祖 神話 解釋의 한 試圖”, 『韓國民俗論叢』, 啓蒙社, 1986
- 張籌根, “三姓 始祖 神話 解釋의 한 試圖”, 『국어국문학』 22號, 국어국문학회, 1960
- 張籌根, “三姓神話의 形成과 文獻定着過程”, 『耽羅文化』 14, 제주대 탐라문화연구원, 1994
- 張籌根, “3성신화의 형성과 문헌 정착과정”, 『한국신화의 민속학적 연구』, 집문

당, 1995

張籌根, “紋事巫歌의 始原과 民俗文藝史上的 位置”, 『文化人類學』 5, 韓國文化人類學會, 1972.12

張籌根, “濟州島 堂神神話의 構造와 意味”, 『京畿語文學』 7輯, 京畿大 國語國文學科, 1986

張籌根, “濟州島 堂神神話의 構造와 意味”, 『濟州島 研究』 3輯, 濟州島研究會, 1986

張籌根, “제주도 당신신화의 구조와 의미”, 『한국신화의 민속학적 연구』, 집문당, 1995

張籌根, “제주도 무속신화 : 본풀이 전승의 현장 연구”, 『한국신화의 민속학적 연구』, 집문당, 1995

張籌根, “濟州島 天地創造說話의 文化領域性”, 『제주도』 38, 濟州道, 1969.3

張籌根, “鄉土神 ; 神房의 本풀이”, 『서울평론』 10, 1974

張籌根, “현용준 저 <<濟州島巫俗資料事典>> 서평”, 『口碑文學』 4, 한국정신문화연구원 어문연구실, 1980

張籌根, 『韓國의 神話』, 成文閣, 1961.6

鄭漢淑, “濟州島의 民俗과 文學 : 神話·傳說·說話를 中心으로”, 『제주도민속』 2, 1964.8

趙賢熙, “世經本풀이의 연구”, 경기대 석사논문, 1990.2

秦聖麒, “堂神의 人格化와 本풀이 神話”, 『濟州島 民俗과 觀光』, 濟州道, 1965

秦聖麒, “堂神話의 思想背景”, 『제주도』 18, 제주도, 1964

秦聖麒, “巫俗神話에서 보는 黑白兩派”, 『국어국문학』 31, 국어국문학회, 1966

秦聖麒, “本島巫俗神話와 祭次의 實態”, 『제주도』 21, 濟州道, 1965.9

秦聖麒, “本풀이에서 보는 堂神의 思想的 背景 : 특히 和順本鄉의 神名을 中心으로”, 『제주도』 8, 濟州道, 1964.12

秦聖麒, “濟州島 神堂과 堂神”, 『韓國民俗學』 2, 民俗學會, 1970

秦聖麒, “제주도의 전통문화 : 주로 巫俗神話 本풀이를 중심으로”, 『한국민속학』 19, 민속학회, 1986.10

秦聖麒, “耽羅의 神話”, 『現代宗教』 116, 1983

秦聖麒, “耽羅의 神話”, 『現代宗教』 119, 1983

- 秦聖麒, “耽羅의 神話”, 『現代宗教』 124, 1983
- 秦聖麒, “太子 괴노기都 神話”, 『제주도』 26, 濟州道, 1966
- 秋葉隆, “濟州島と神話”, 『朝鮮研究』 9-6, 1936
- 秋葉隆, “濟州島の神話: 西歸本郷神本譚”, 『緣旗』 3, 1933
- 許 楮, “<三姓神話> 研究: 成果와 課題”, 『耽羅文化』 14, 제주대 탐라문화연구소, 1994.
- 許 楮, “說話에 나타난 濟州 女性考”, 『耽羅文化』 16, 제주대 탐라문화연구소, 1996
- 許 楮, “濟州島 巫俗神話의 文化英雄考”, 『濟州島言語民俗論叢』, 濟州文化, 1992.10
- 현길언·김영화, “제주 설화를 통한 제주도 정신 연구: 당신본풀이와 인물(壯士)전설을 중심으로”, 『논문집』 12, 제주대, 1981
- 玄丞桓, “<내 복에 산다>계 설화 연구, 제주대 박사논문, 1992
- 玄丞桓, “삼공본풀이의 형성과정 연구”, 『濟州島言語民俗論叢』, 濟州文化, 1992. 10
- 玄容駿, “古代神話와 韓國文學의 源流”, 『韓國文學研究入門』, 知識産業社, 1982
- 玄容駿, “堂굿의 儒式化와 三姓神話”, 『제주도』 14, 제주도, 1964.6
- 玄容駿, “堂神話의 起源과 成長: 濟州島 堂神話考”, 『濟州島民俗』 1, 濟州民俗學會, 1964.7
- 玄容駿, “堂神話의 Motif와 基本形式: 濟州島堂神話考(二)”, 『國文學報』 2, 濟州大 國語國文學科, 1964.1
- 玄容駿, “堂神話의 內容構成과 背景民俗信仰: 濟州島堂神話考(三)”, 『濟大學報』 6, 濟州大, 1964.7
- 玄容駿, 『巫俗神話 본풀이 研究序說』(등사본), 1965.12
- 玄容駿, “巫俗神話 본풀이의 形成”, 『국어국문학』 26, 국어국문학회, 1963.6
- 玄容駿, 『巫俗神話와 文獻神話』, 집문당, 1992
- 玄容駿, “巫俗神話의 社會的 機能”, 『心田金洪植教授華甲紀念論叢』, 濟州文化, 1990.6
- 玄容駿, “본풀이와 敍事詩”, 『濟大學報』 4, 濟州大, 1962.7
- 玄容駿, “본풀이의 形式과 內容”, 『韓國言語文學』 1, 韓國言語文學會, 1963

제주 무속·무가 관계 논저목록

- 玄容駿, “三姓神話 研究”, 『耽羅文化』 2, 濟州大 耽羅文化研究所, 1983
- 玄容駿, “성주놀이 푸념 : 무당의 神歌”, 『사호』 1, (?), 1958
- 玄容駿, “영감본풀이와 영감놀이”, 『白鹿語文』 5輯, 濟州大 국어교육연구회, 1988
- 玄容駿, “日本神話と韓國神話”, 『日本神話の比較研究』, 1974.6
- 玄容駿, “濟州島 開闢神話의 系統”, 『濟州島 研究』 5輯, 濟州島研究會, 1988
- 玄容駿, “濟州島 堂神話考”, 『제주도』 3, 濟州道, 1962.6
- 玄容駿, “제주도설화와 개벽신화”(1), 『제주도』 52, 濟州道, 1971.12
- 玄容駿, “濟州島神話에서 본 婚姻”, 『濟大學報』 9, 濟州大, 1967.12
- 玄容駿, “濟州島神話와 開闢神々”, 『제주도』 52, 濟州道, 1971. 12
- 玄容駿, “濟州島神話의 儀禮形式에서 본 文化의 系統”, 『耽羅文化』13, 濟州대 탐라문화연구소, 1993
- 玄容駿, “濟州島における巫歌神話の機能”, 『民族文化の世界』 上, 小學館(日本), 1990
- 玄容駿, “韓國神話에서 본 世界構造”, 『국어국문학』 64, 국어국문학회, 1974.9
- 玄容駿, “韓國神話의 構造에 대한 一考”, 『李崇寧先生古稀紀念國語國文學論叢』, 탐출판사, 1977.7
- 玄容駿, “韓日神話의 比較”, 『論文集』 8(人文社會科學篇), 濟州大, 1977.2